



園だより

にじ

香川大学教育学部附属幼稚園

2016年4月19日

～子どもたちとの生活づくりを大切に～

お子様の進級・ご入園おめでとうございます。園での生活が始まって約10日。保護者の皆様の心もいろいろに揺れ、またお子様の心も楽しさ、嬉しさ、不安、戸惑い等揺れ動いていることでしょう。まずは、心の基盤（支え）として園で安心や楽しさを感じられるように、保育者・職員一同ゆったり、じっくりとかかわってまいります。その中で、子どもたちがそれぞれの味・よさから、自分の思いや力を出して、互いに育ち合うことを願っています。

保護者の皆様もいろいろと感じたり、時にはご心配されたりすることと思います。そんなときは、担任、また養護教諭、私たちにお話しくださればと思います。お子様の成長をともに願い、一緒に考え、育ち合っていけましたら、幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

これからこの「にじ」を通して、子どもたちのこと、幼児教育について、子育て等について、つながり合っていけたら、と思っております。虹は、七色といいますが、目に見えない多様な色が重なり合っていると思います。そして、つながりを生んでいるものです。そんな願いをこめて、発信してまいります。

子どもから学ぶ大切な思い・こと

子どもは、家庭で多くのことを感じ、学びます。また、園で友達との集団生活を通して多くのことを感じ、学びます。さらに、身近な地域社会の中で、育っていきます。家庭・園・地域社会のつながりのある環境を私たち大人が大切に守り、子どもたちが伸び伸びと育っていけるように共に考えていきましょう。

- * 子どもは自分の五感を信じ、もの・こと、自分を受け入れていきます。
- * 子どもは友達（人）と自分を感じる中で、関心や願い、あこがれをもち、大きくなろうとします。
- * 子どもは、何度もチャレンジし、試すことの中で、新しい発見をしていきます。
- * 子どもは、心柔らかく、言葉にならない思いをいっぱい心にもっています。
- * 子どもは、大きくなる自分への宝を心・体に溜めこみながら生きています。

【本園の教育目標について】

<幼児像>

自分の目的をもって自ら環境に働きかけ、
意欲的に遊びに取り組み、
自分の力で解決していける子ども

幼稚園

幼稚園

思いやりの心
をもって人に
接する子ども

健康で
がんばる
子ども

よく見、
よく考え、
工夫する子ども

家庭

ふわふわあったか
ことば
「ありがとう」を
伝え合おう

生活リズムづくり

試して考えて、「じっ
くり」の時間や場づ
くりを心がけて

家庭でも
幼稚園でも



子どもたちの姿から・・・

青組になって、2日目の4月8日。青組になった子どもたちは、いろいろな場で、さて何をしようか・・・と何でもやってみながら新しい生活を楽しんでいるようでもあり、また、年長になったという「今」の生活に慣れないようでもありました。当然のことで、わくわくもドキドキもしているのです。

そんなときの一コマ。砂場に赤組さんも遊んだおもちゃが広がり、片づけというときです。青組の男の子二人がまずやって来て、おもちゃ車にスコップやらカップやらを片づけていきました。自分が存分に遊んだものではないのですが、片づけよう・・・と心動かしておりました。私は、任せておけそうな雰囲気にとっと見ておくことにしました。車に積み終わり、出発です。ゴロゴロと引っ張るのも、どこかぎこちないのですが、倉庫に向かっていきました。その途中、園庭で別の遊びをして走っていた男の子が、車を追い抜いたかと思うと、倉庫の扉を開けに行ったのです。そして、車に戻り、引っ張る手助けに加わりました。なんともいい温かいかわりに胸がほんわかとしました。一生懸命車を押していた男の子も一緒に片づけようと、心に感じるものがあつたでしょう。その後、ごつんごつんと一輪車の補助台や倉庫の上り口にぶつかりながらも、見事片づけ終わられました。そのとき、6人に友達が増えていて、互いににこっとしている姿に「あおくみだもんね」という嬉しさ・実感が伝わってきました。倉庫から、駆け出す子どもたちの姿は、とても勢いよく、頼もしいものでした。これから、そっと応援役に回ることも増えそうです。少しさみしい。けれども、とてもうれしい。頼りにしながら、何かの時の支えになれば・・・と、思います。



子育てあったかライブラリー

玄関の本棚に、お家の方の本棚があるのをご存知でしょうか。今年、少しだけリニューアルして、子育ての本や子どもと読む本など、いいなあと感じた本を置いています。貸出していますので、どうぞご利用ください。早速借りてくださったお母さん方もいて、ありがたいです。「～な本も読みたい」というご希望がありましたら、お応えしていければと思います。「にじポスト」を本棚横においていますので、コメントカードにどうぞお書きください。

汐見先生の素敵な子育て
「子どもの身体力の基本は遊びです」
汐見稔幸 著(旬報社)
子どもの体力・体の健康について、
いろいろと課題のある現代社会。

汐見先生の「自然とコミュニケーションする遊びの体験は人生の財産になります」に共感する私。大人でも、そうだと思いますか。



倉橋 惣三絵本エッセイ

「子どもの心とまなざしで」

倉橋 惣三 解説 本田和子

(フレーベル館)

日本で初めて「幼稚園」を創った倉橋先生。子どもの心を温かく深く見つめておられ、何年もたった今も、子どもの心もちの理解につながります。ほっと心の深呼吸をさせてくれる本です。



保護者の方とご家族みなさまとお子様の、またつながり合う子どもたちの育ちを見つめていきたいと願っています。一年、どうぞよろしくお願ひします。